

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉高等学校 令和7年度 教科：国語 科目：日本語コミュニケーション実践

教科：国語 科目：日本語コミュニケーション実践 単位数：2 単位

対象年次・講座：第2～4 年次

教科担当者：① 鈴木 航 ② 辻 亜弓 ③ 牛腸 淳 ④ 高梨 雅人

使用教科書：（なし）

教科 国語 目標：生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【思考力、判断力、表現力等】言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目	日本語コミュニケーション実践	目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要となる日本語のコミュニケーション技能を身に付けるようにする。		他者とのコミュニケーションの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを的確に表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書 読					
前期	A【単元】話しやすい雰囲気を作る	・ガイダンス ・ネームゲーム ・ジョハリの窓 ・構成的グループエンカウンター など	○		「知識及び技能」 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	10
	B【単元】自分を知り、他人を知る 「様々な自己紹介」	・両どなり他己紹介・自己紹介 ・ウインドウズ ・共通項を見つけよう ・私の取扱説明書 など	○		「知識及び技能」 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	10
	単元の振り返り学習		○			○	○		1
	C【単元】様々なコミュニケーションを知る① 「からだで感じるコミュニケーションワーク ジョップ」	・ジェスチャーゲーム ・伝言ゲーム ・傾聴 など	○		「知識及び技能」 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	6
	D【単元】様々なコミュニケーションを知る② 「演劇の手法を利用したコミュニケーション ワークショップ」	・仲間分けゲーム ・いいよゲーム ・○○を椅子から立たせるゲーム など	○		「知識及び技能」 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	8
	単元の振り返り学習		○			○	○		1
後期	E【単元】言葉によるコミュニケーション力を高める 「コミュニケーションゲーム」 「ファシリテータ実習」 「ディベート」	・NASA ・パスは待ってくれない ・ディベート（様々なテーマを設定し、賛成派、反対派に分かれ、討論する。）	○		「知識及び技能」 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	14
	F【単元】プレゼンテーション力をつける① 「パブリックスピーチ①」	・サンドイッチ法 ・アイコンタクト ・質問を取り入れる ・タイムや内容を絞ってスピーチする	○		「知識及び技能」 ・比喩・例示・言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと」において、目的や意図に応じて、自身の体験や実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に他者の発表を聞き、発表者の言いたい事を正確に理解しようとしている。	○	○	○	8
	単元の振り返り学習		○			○	○		1
	G【単元】プレゼンテーション力をつける② 「パブリックスピーチ②」	・物を使って話す ・物を使って主張する① ・物を使って主張する② ・起承転結を意識する	○		「知識及び技能」 ・比喩・例示・言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、自身の体験や実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に他者の発表を聞き、発表者の言いたい事を正確に理解しようとしている。	○	○	○	8
	H【単元】創作・表現活動	・短歌を作り、歌会を行う ・詩やエッセイを創作し、批評し合う	○		「知識及び技能」 ・比喩・例示・言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「書くこと」において、自分の体験や実社会の中から適切な題材を決め、言葉を吟味して作品を創作している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に他者の作品を読んで作者の意図をたもとえようとし、自分の作品をより良いものにしていくとしている。	○	○	○	10
	単元の振り返り学習		○			○	○		1



合計
78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 国語 科目： 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第 2 年次 I 部：① ② ③ ④ II 部：⑤ ⑥ ⑦ ⑧ III 部：⑨ ⑩ ⑪ ⑫

教科担当者： ① 鈴木 航 ② 鈴木 俊子 ③ 鈴木 航 ④ 鈴木 俊子 ⑤ 牛腸 淳 ⑥ 鈴木 俊子
⑦ 牛腸 淳 ⑧ 緒方 彬 ⑨ 緒方 彬 ⑩ 牛腸 淳 ⑪ 緒方 彬 ⑫ 高梨 雅人

使用教科書：（「新編言語文化」東京書籍（言文701））

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化を通して、言語能力を身につけるとともに、言語文化に対する関心と理解を深める。	我が国の言語文化を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

		88		領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		話・	書 読					
前期	A 現代文編 随筆 【単元】 ・随筆を読んでもものの方や感じ方を 読み取る 「さくらさくら」 「『美しい』ということ」	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、 文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内 容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで本読物の版に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考 察を踏まえながら筆者の捉への思いを整理しようとしている。	○	○	○	8
	B 現代文編 小説 【単元】 ・表現に注意しながら登場人物の心情 を読み取り、小説に親しむ 「羅生門」	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、 文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方を 捉え、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで描かれている内容についての理解を深め、学習課題に沿って、発表や討論を通じて 持た他者の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	単元テスト						○	○		1
	C 古文編 古文入門 【単元】 ・古文と現代文の違いを知り、古文を 読む基礎となる文語のきまりを理解す る ・説話の面白さを味わい、古文の世界 に親しむ 「兄のそら寝」「用光と白波」「絵仏 師良秀」	・表現や言葉遣い ・語彙の構造理解 ・構成の検討、表現の共有 ・ロールプレイ		○		「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典 特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域・文化・時代などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の 言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内 容の解釈を深めている。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとして いる。	○	○	○	10
	D 古文編 随筆 【単元】 ・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作 者の考えを、叙述を基に捉える ・作品の内容を踏まえて、自分のもの の方、感じ方、考え方を深める 「徒然草」「枕草子」	・歴史的仮名遣い ・古文単語、文法 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典 特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域・文化・時代などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の 言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内 容の解釈を深めている。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとして いる。	○	○	○	8
	単元テスト						○	○		1
後期	E 古文編 詩歌 【単元】 ・詩歌に表れたものの方、感じ方、 考え方を捉えて、内容を解釈する ・特徴的な表現の技法とその効果につ いて理解する 「柳あをめる」「雪の深さを」	・歴史的仮名遣い ・古文単語、文法 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、 文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内 容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい る。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景 や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	F 漢文編 漢文入門 【単元】 ・漢文の特色を知り、きまりを理解す る ・格言や故事成語を読んで、漢文の世界 に親しむ 訓読 格言 再読文字 故事成語	・漢字 ・語彙 ・訓点 ・文章の構成 ・引用と出典の理解 ・根拠の明示 ・意見文の作成			○	「知識及び技能」 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典 特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域・文化・時代などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の 言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的確に捉えている。 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよき を吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展 開や、文体、描き、語句などの表現の仕方を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、元の漢詩の魅力が伝わるよ うに訳詩を書こうとしている。	○	○	○	8
	単元テスト						○	○		1

期	G 漢文編 漢詩	・訓点 ・文法、句形 ・キーワード把握 ・漢詩の種類理解 ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			○	・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特徴や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典特有の表現などについて理解している。 ・「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「主体的に学習に取り組む態度」 進んで漢詩の形式とまじりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	○	○	○	10
---	----------	--	--	--	---	---	---	---	---	----

H 漢文編 史話 【單元】 ・話の展開に即して、内容を理解する力を身につける ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう 「曹公戦於白馬」「曹公以関羽為義」「魏武捉刀」	・訓点 ・文法、句形 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示				「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。	○	○	○	9
單元テスト						○	○		1

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 国語 科目： 古典演習

教科： 国語 科目： 古典演習 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 3・4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①鈴木敏子 ②緒方彬 ③

使用教科書： （ 副教材 古典アチーブ1 ）

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	古典演習	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
我が国の古典を通して、言語能力を身につけるとともに、古典に対する関心と理解を深める。	我が国の古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・	聞	読					
前期	A 単元 古典の基礎と読解 現代仮名遣い・品詞・動詞の活用 読解作品 「玉勝間」「伊曽保物語」「古今著聞集」「平家物語」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	○	○	○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	12
	B 単元 古典の基礎と読解 動詞の活用の見分け・形容詞の活用 読解作品 「宇治拾遺物語」「浦島太郎」「徒然草」「伊曽保物語」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	○	○	○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	12
	C 単元 古典の基礎と読解 助動詞の種類と活用 読解作品 「玉勝間」「沙石集」「沙石集」「今昔物語集」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	○	○	○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	12
後期	D 単元 古典の基礎と読解 助動詞の種類と活用 読解作品 「宇治拾遺物語」「土佐日記」「竹取物語」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	○	○	○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	14
	E 単元 漢文の基礎と読解 訓読の基礎 読解作品 「蒙求」「淮南子」「列氏」「史記」「孟子」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	○	○	○	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	14
	E 単元 漢文の基礎と読解 訓読の基礎	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け				「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的				

	読解力向上 「世説新語」「十八史略」「五代史補」 「孟子」「李太白集」	・内容把握、主題把握 ・考への形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い		○	○	○	背景について理解を深め、文章の中で使ったことを通して、論感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	14
							「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。				合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 国語 科目： 現代文演習

教科： 国語 科目： 現代文演習 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 3,4 年次 ①②③

教科担当者： ①鈴木 俊人 ②緒方 彬 ③高梨 雅人

使用教科書： (「文学国語セレクション」東京書籍 補助教材)

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○ 文章内の語句を理解し、それらを的確に使うことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○ 文章の構成や展開、修辞表現の効果を理解し、それらを的確に使っている。	○ 読み取った書き手（作者・筆者）の主張を基に、物事を筋道立てて考えたり、表現したりしている。	○ 本文解釈を通じて、自分の考えを振り返り、実生活に活かそうとしたり、還元しようとしていたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	○登場人物の人物像を読み取る ○「指示語・接続語」を理解する	○『山月記』（中島敦） 意味段落一・二読解 ・李徴、袁蓐の人物像を読み取る ○問題演習 ・例題「学びとは何か」 ・実践「レトリック感覚」	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	10
	○登場人物の心情を考察する - ① ○「同意表現」を理解する	○『山月記』（中島敦） 意味段落三・四読解 ・李徴の告白を読み取る ・李徴の即席の漢詩から、心情を読み取る ○問題演習 ・例題「日本のデザイン」 ・実践「つかふ」	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	12
	○描写の効果を考察する ○「因果関係」を理解する	○『山月記』（中島敦） 意味段落五・六読解 ・李徴の告白を読み取る ・「再びその姿を見なかった」の目的語を考察する。 ○問題演習 ・例題「現代科学の歩きかた」 ・実践「科学と非科学」	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	16
後期	○登場人物の心情を考察する - ② ○「意味段落」を理解する	○『こころ』（夏目漱石） 意味段落一・二・三読解 ・私の心情を考察する ・Kの第一信条を把握する ○問題演習 ・例題「『サル化』する人間社会」 ・実践「入門！論理学」	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	10
	○登場人物の心情の推移を考察する - ① ○「問題提起・キーワード」を理解する	○『こころ』（夏目漱石） 意味段落四・五・六読解 ・部屋と襖の効果を考察する ・Kの覚悟を考察する ・私の心情の推移を考察する ○問題演習 ・例題「生まれてこないほうが良かったのか？」 ・実践「暇と退屈の倫理学」	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	16

	○登場人物の心情の推移を考察する - ② ○「具体と抽象」を理解する。	○『ころ』 (夏目漱石) 意味段落七・八・九読解 ・いびつな円について考察する ・私の倫理的弱点について考察する ・Kの遺書を読んだ私の心情を考察する	[知識及び技能] ・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。 [思考力、判断力、表現力] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしている。 ・「読むこと」において、書き手（作者・筆者）の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [学びに向かう力、人間性] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしていたりしている。	○	○	○	14
							合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 国語 科目： 作文演習

教 科： 国語 科 目： 作文演習 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①⑤高梨雅人 ②③鈴木敏子 ④緒方彬

使用教科書： （ ）

教科 国語	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 作文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国語で適切にかつ効果的に表現する能力を育成し、言語感覚を磨く。基礎的事項の繰り返し学習を重視し、言語活動を通して実践的に学習する。	伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、自己を表現する能力を育成する。	感受性を育み、進んで心情をあらゆる方法で表現する姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書 読					
前期	整った文を書く。 わかりやすい文を書く。	・講座ガイダンス ・間違いやすい漢字や表記についての学習 ・敬語・話し言葉・書き言葉 ・接続表現の種類と働き ・文脈による接続 ・読点の打ち方 ・あいまいな文		○ ○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	文のつなぎ方、原稿用紙の使い方を身に付ける。	・文脈による接続 ・接続表現の種類と働き ・原稿用紙の使い方		○ ○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	論理的な表現を身に付ける。 言葉の学習。	・段落の構成を意識して書く ・ことわざ・一般常識・故事成語		○ ○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
後期	小論文の書き方を身に付ける。	・小論文構成メモの作成 ・小論文を書いてみる ・資料を読み取って書く ・発想を広げて書く		○ ○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	豊かな表現に触れる。	・俳句、川柳などを読み感想文を書く。 ・俳句、川柳を読む。		○ ○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	聞いた情報を整理する。 エッセイを書く。	・地図を見て道順を聞き取る ・料理の仕方を聞いてレシピを書きとる			【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。【(1)ア】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 【思考・判断・表現】				

[illegible]

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 国語 科目： 演劇

教科： 国語 科目： 演劇 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2~4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①辻亜弓 ②鈴木航 ③ ④

使用教科書： （ なし ）

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 演劇 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要なとなる表現技能を身に付けるようにする。	他者とのコミュニケーションの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを的確に表現することができるようにする。	演劇の学習活動を通して、自己表現の楽しさを実感し、自己の人間性を高めることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
前期	A 単元 ガイダンス 準備体操 発声練習	・ガイダンス ・演じることについて ・ストレッチ ・腹筋 ・発声練習 ・滑舌 など	○		○	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスを耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	○	○	○	10
	B 単元 正確に台本をよむ	・「アイウエオの歌」 ・「羊が一匹」 など	○		○	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスを耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	○	○	○	16
	C 単元 抑揚をつけて台本をよみ、演じる。	・「貧乏神物語」 ・「外郎売」 など	○		○	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスを耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	○	○	○	10
後期	D 単元 身体を使って演じる	・発表会用台本	○		○	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスを耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	○	○	○	14
	E 単元 気持ちを込めて演じる	・発表会用台本	○		○	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスを耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	○	○	○	12
	F 単元 発表会に向けて	発表会用台本				「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。				

			○	○	「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。	○	○	○	16
					「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスに耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。				合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和6年度 教科： 国語 科目： 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1 年次

教科担当者： ①鈴木航 ②辻亜弓 ③鈴木俊子 ④緒方彬 ⑤牛腸淳 ⑤高梨雅人

使用教科書： （ 「新編現代の国語」 東京書籍 （現国701） ）

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
前期	A 単元 自己への理解を深める 『こそそめスープ』『ルリボシカミキリの青』 ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれがもつ意識の世界に思いをはせる。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	○	○	○	9
	B 単元 評論を読んで関心の幅を広げる 『未来を作る表現力』『水の東西』 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら、説得力のある文章を読み取れるようになる。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を読むことができる。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・比較を通じて「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	○	○	○	9
	単元テスト			○			○	○		1
	C 単元 コミュニケーションの基礎を養う 「分かりやすい説明をしよう」 ・目的や相手に合った分かりやすい説明をする。	・表現や言葉遣い ・語彙の構造理解 ・構成の検討、表現の共有 ・ロールプレイ	○			「知識及び技能」 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	9
	D 単元 視野を広げる 『スキマが育む都市の緑と生命のつながり』『無彩の色』 ・具体例や提示された新しい視点を理解しながら文章を読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			○	「知識及び技能」 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・進んで筆者の「景色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。	○	○	○	9
	単元テスト			○			○	○		1
後期	E 単元 働く人の思いを理解し、社会と関わる準備をする 『鍋洗いの日々』『森で染める人』『真夏のひしこ漁』 ・「働くこと」についての様々な文章を読み、仕事に対する筆者の思いを読み取る。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			○	「知識及び技能」 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・進んで筆者の体験談から仕事の仕に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞したことを発表しようとしている。	○	○	○	9
	F 単元 表現する力を養う 「新聞記事を読んで意見文を書こう」 ・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。	・漢字・語彙 ・文章の構成 ・引用と出典の理解 ・根拠の明示 ・意見文の作成			○	「知識及び技能」 ・比喩・例示・言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や間接的な述べ方について理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に新聞記事を読んで問題の本質をとらえ、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動しようとしている。	○	○	○	10
	単元テスト			○			○	○		1
	G 単元 周囲に広がる世界への理解を深める 『美しさの発見』『りんごのほっぺ』 ・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。	○	○	○	10
	H 単元 多様な価値観を知り、社会の未来を考える 『不思議の拍手』『真の自立とは』『自立』の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げよう	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			○	「知識及び技能」 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を用い、読んだり書いたりすることができる。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今ま	○	○	○	10

学習の進捗	学習の成果			での学習をしながら「自立」という観点から他者と話し合いをした上で、自分の考えをまとめようとしている。				
単元テスト			○		○	○		1

合計
78